サポート情報記事

Discussions がデータを保存する場所: リスト、列、プライバシー

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

管理者向けの概要 4

サイト上のリスト 5

リストの認識方法 7

列 8

添付ファイルとインライン画像 9

ページに保存される内容 10

ID とアクセス許可 10

テナントの外部に送信される情報 11

データのライフサイクル 11

用語 13

概要

Discussions は **SharePoint** Framework ソリューションです。すべてのボード、トピック、返信、いいね、報告、サブスクリプション、添付ファイル、画像は、Web パーツが実行されるサイト上の通常の SharePoint リストとドキュメント ライブラリに保存され、すべての読み取りと書き込みはサインインしているユーザーの ID で SharePoint API (**REST** と CSOM) を通じて行われます。**Microsoft 365** テナントの外部には何も保存されず、パッケージは **Microsoft Graph** のアクセス許可を要求しません。この記事では、セキュリティ レビューやデータ保護評価に必要な詳細さでデータの保存について説明します。

管理者向けの概要

質問	回答
コンテンツはどこに保存されますか?	ボードをホストするサイト上の 4 つのリストと 1 つのドキュメント ライブラリ
誰が作成しますか?	初回使用時に、**リストの管理** アクセス許可を持つユーザー (サイト所有者) のコンテキストで Web パーツが作成します。不足しているリストや列は、後から同じ方法で追加されます
リストの名前を変更できますか?	はい。Web パーツはタイトルではなく固定の列 ID でリストを認識します
添付ファイルはどこに保存されますか?	**ディスカッショントピック** と **ディスカッション投稿** のリスト アイテムの添付ファイルとして
インライン画像はどこに保存されますか?	**ドキュメント ライブラリ ディスカッションアセット** の年ごとのフォルダー
誰の ID が使用されますか?	すべての呼び出しで、サインインしているユーザーの ID
パッケージはどの API アクセス許可を	要求しません。Microsoft Graph は呼び

質問	回答
要求しますか?	出されません
Vitextra に送信されるものは何ですか?	ライセンス確認と使用状況テレメトリのための技術的な識別子のみ。コンテンツは送信されません
Web パーツを削除するとデータはどうなりますか?	何も起こりません。リストはユーザーが削除するまでサイトに残ります

サイト上のリスト

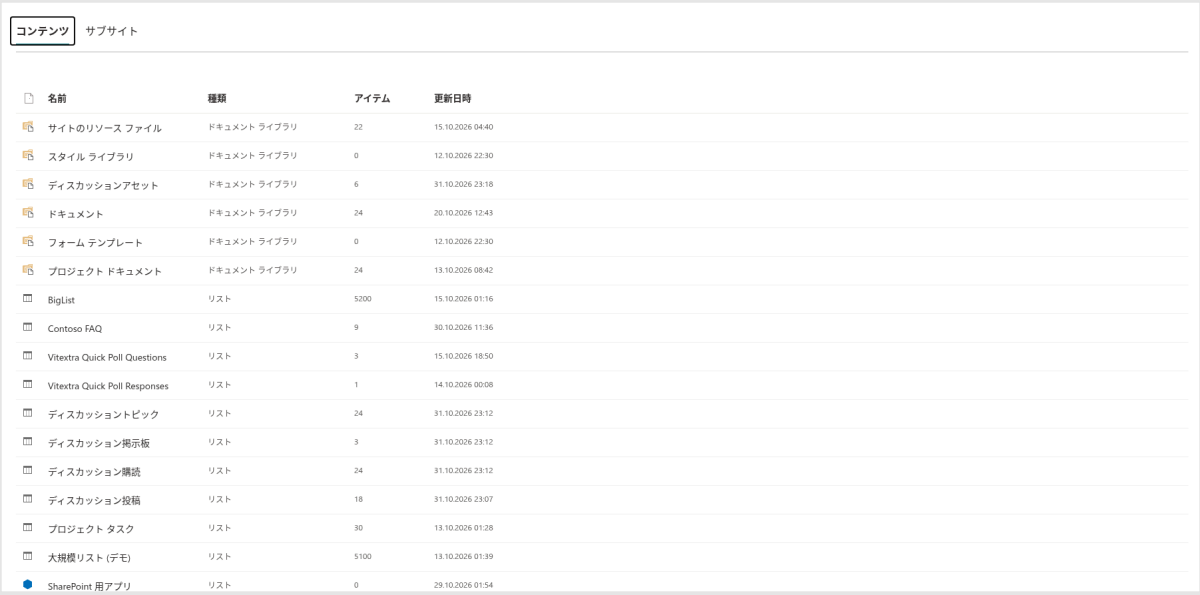
サイト所有者が最初のボードを作成すると、Web パーツはサイト レベルで次のリストをプロビジョニングします。これらはサイト上のすべてのボードに使用されます。1 つのサイトに複数のボードを作成でき、すべてのボードが同じリストを共有します。

既定のタイトル	種類	保持する内容
ディスカッション掲示板	カスタム リスト	ボードごとに 1 アイテム: タイトル、説明、モード (Discussion、QnA、Mixed)、カテゴリの一覧、トピック カウンター、承認が必要 設定
ディスカッショントピック	カスタム リスト	トピック: タイトル、本文、ボードへの参照、カテゴリ、種類 (Discussion または Question)、状態 (Open、Answered、Locked)、ピン留めと注目のフラグ、カウンター、最終アクティビティ、ベストアンサー、いいね、承認状態、メンション、報告、レガシー ID

既定のタイトル	種類	保持する内容
ディスカッション投稿	カスタム リスト	返信: 本文、トピックへの参照、親返信への参照、マテリアライズド パスと深さ、ベストアンサーのフラグ、いいね、承認状態、メンション、報告、レガシー ID
ディスカッション購読	カスタム リスト	誰がどのボードまたはトピックをどの頻度でフォローしているか
ディスカッションアセット	ドキュメント ライブラリ	リッチ テキスト エディターに挿入された画像 (貼り付け、ドロップ、アップロード)

リストは **コンテンツ** に表示される状態で作成され、バージョン管理が有効、コンテンツ タイプが無効、クイック (グリッド) 編集が無効になっています。2 つのコンテンツ リストではアイテムの添付ファイルが有効で、ドキュメント ライブラリではフォルダーの作成が有効です。リストはクロールの対象となるため、トピックと返信は他のリスト アイテムと同様に SharePoint の検索結果に表示されることがあります。

リストと列を最新の状態に保つのは Web パーツ自身です。サブスクリプション リストやアセット ライブラリが存在する前に Web パーツを構成したページをモデレーター (**リストの管理** アクセス許可を持つユーザー) が開くと、不足しているリストと列が自動的に作成されます。ボードのセットアップ (**掲示板を作成** と **掲示板を使用**) でも常にリストが確認され、後のバージョンで導入された列が追加されますが、対象は **リストの管理** アクセス許可を持つユーザーのみで、それ以外のユーザーは既存のリストを検索するだけです。この処理で名前の変更や削除は行われません。



サイト コンテンツに表示された Discussions のリスト

メモ

リストのタイトルは、ボードを作成した人のインターフェイス言語から取られます。英語のインターフェイスではリストは **Discussions Boards**、**Discussions Topics**、**Discussions Posts**、**Discussions Subscriptions**、**Discussions Assets** という名前になり、ロシア語のインターフェイスでは製品のロシア語タイトルが付きます。タイトルは後から変更しても Web パーツの動作に影響しません。

リストの認識方法

Web パーツはリストのタイトルに依存しません。各リストには固定の列 ID を持つマーカー列があります。ボード リストの **モード** 列、トピック リストの **掲示板** 参照列、投稿リストの **トピック** 参照列、サブスクリプション リストの **ターゲットの種類** 列、ドキュメント ライブラリのテキスト列 **ディスカッションアセット** です。Web パーツはまずタイトルでリストを探し、見つからない場合はサイトの表示されているリストをスキャンしてマーカー列を探します。したがって:

- リストの名前を変更したり、列の表示名を変更したりしても、Web パーツは引き続き動作します。
- マーカー列やその他の `Vtx` 列を削除してはいけません。Web パーツはリストが存在しないものとして扱うか、アイテムを読み取れなくなります。
- リストは Web パーツをホストするページと同じサイトに置いておく必要があります。別のサイトからボードを提供することはできません。

列

製品が追加するすべての列の内部名は `Vtx` で始まり、表示名はリストのタイトルと同じ方法でローカライズされます。種類、インデックス、選択肢列の許可される値を含む完全なリファレンスは、KB10426. Discussions のリストと列のリファレンス にあります。データ レビューで重要となる点は次のとおりです。

- トピックと返信の**本文** (`VtxBody`) は HTML として保存されます。エディターは保存前にすべてを許可リスト方式のサニタイザーに通し、Web パーツは表示前に再度サニタイズするため、リストで直接編集された値がページにスクリプトを挿入することはできません。
- **ユーザー**は SharePoint の標準のユーザー列です。各アイテムの作成者と更新者、メンションされたユーザー (`VtxMentions`)、アイテムにいいねした (`VtxLikedBy`) または報告した (`VtxReportedBy`) ユーザー、最後に返信したユーザー (`VtxLastReplyBy`)、サブスクライバー (`VtxUser`) です。ユーザー列はサイトのユーザー情報リストを参照し、プロファイルのコピーは保持しません。
- **モデレーション** データは、承認状態 (`VtxApprovalStatus`: Approved、Pending、Rejected)、報告カウンター、報告者です。
- **ボードの設定** (`VtxDescription`、`VtxMode`、`VtxCategories`、`VtxRequireApproval`) とボードのタイトルは、モデレーターがコマンド バーから開く Web パーツの **掲示板の設定** コマンドによって書き込まれます。**ディスカッション掲示板** リストでアイテムを直接編集しても同じ結果になります。カテゴリは 1 行に 1 つずつ保存されます。
- **カウンター** (`VtxReplyCount`、`VtxViewCount`、`VtxLikeCount`、`VtxTopicCount`) は Web パーツが更新する数値で、リストで修正できます。トピックの閲覧数カウンターは、ブラウザー セッションごとに最大 1 回だけ加算されます。ボード アイテムの `VtxTopicCount` は、トピックの作成時に加算され、削除時に減算されます。どちらの更新もベスト エフォートで、この値は Web パーツには表示されません。
- **レガシー ID** (`VtxLegacyId`) は、エントリのインポート元となったクラシック ディスカッション掲示板アイテムの識別子を保持し、インポーターを重複なく再実行できるようにします。



Vtx 列を含む ディスカッショントピック リスト

添付ファイルとインライン画像

ユーザーがトピックや返信に添付したファイルは、**ディスカッショントピック** または **ディスカッション投稿** の対応するリスト アイテムの**アイテム添付ファイル**として、SharePoint の標準のアイテム添付ファイル フォルダーに保存されます。添付ファイルはアイテムのアクセス許可に従い、アイテムと一緒に削除されます。

投稿の本文に挿入された画像は、ドキュメント ライブラリ **ディスカッションアセット** にアップロードされます。Web パーツは現在の年の名前 (`2026`、`2027`、...) のフォルダーを作成し、タイムスタンプ、ランダムなサフィックス、元のファイル名から成る一意の名前でファイルを保存するため、2 人のユーザーが競合なく `screenshot.png` をアップロードできます。年ごとのフォルダーで画像を整理します。10 MB を超える画像はエディターによって拒否されます。投稿はライブラリ内のアドレスで画像を参照するため、閲覧者が画像を見るにはライブラリへの読み取りアクセス (サイトから継承) が必要です。

Web パーツでトピックまたは返信が削除されると (作成者またはモデレーターが確認後に実行)、削除されたテキストのインライン画像も **ディスカッションアセット** から削除されます。トピックを削除すると、まずそのすべての返信が最も深い階層から順に削除され、その後トピック自体が、それらすべての投稿の画像とともに削除されます。入れ子の返信が残っている返信は削除できません。画像のクリーンアップはベスト エフォートです。対象は **ディスカッションアセット** ライブラリのファイルのみで、エラーが発生しても削除は中断されず、投稿の編集中に取り除

かれた画像はライブラリに残ります。

警告

ディスカッションアセット からファイルを削除しても、それを参照する投稿は変更されません。投稿はアドレスを保持したまま、壊れた画像を表示します。リスト アイテムを削除すると、その添付ファイルも一緒に削除されます。SharePoint で復元できるかは別途確認してください。削除したアイテム、添付ファイル、画像をすべて復元できることは保証されません。

ページに保存される内容

Web パーツの構成は、他の SPFx Web パーツと同様にページの **Web パーツ** プロパティに保持されます。選択したボードとそのタイトル、リストの ID とアドレス、表示オプションです。**Discussions Activity** Web パーツは、選択したボード、ボードページのアドレス、最大アイテム数、ボード名のスイッチを保存します。コンテンツがブラウザーやローカル ストレージにキャッシュされることはありません。

ID とアクセス許可

- すべての要求は、サインインしているユーザーのトークンを使用した対象の SharePoint サイトへの **SharePoint REST または CSOM** 呼び出しです。SharePoint は各呼び出しにそのユーザーのアクセス許可を適用し、Web パーツはどのボタンを表示するかを決めるだけです (KB10408. Discussions のアクセス許可: 閲覧、投稿、モデレートできるのは誰か を参照)。
- パッケージは **API アクセス許可を要求しません。**SharePoint 管理センターの **API アクセス** (API access) ページには何も表示されず、Microsoft Graph が呼び出されることはありません。詳細は KB10413. Discussions の API アクセス許可と管理者の同意 を参照してください。KB10360. SharePoint 管理センターで Vitextra ソリューションの Microsoft Graph API アクセス許可を承認する方法 の手順はこの製品には不要です。
- **@メンション**のユーザー選択には、サイトの標準の SharePoint ユーザー検索が使用されます。メンションされたユーザーがサイトのユーザー情報リストに未登録の場合は追加されます。これはユーザー列に値を設定したときの標準の動作です。
- Web パーツはメールを送信しません。通知はサイト所有者が設定する **Power**

Automate フローによって配信されます。KB10414. Discussions の通知のしくみ: サブスクリプション、メンション、Power Automate を参照してください。

クラシック掲示板のインポーターは、同じテナント内の別のサイトを読み取ることができます。元の作成者と日付は SharePoint CSOM で復元し、その他のコンテンツ操作には REST を使用します。いずれもサインインしているユーザーのアクセス許可で実行されます。

テナントの外部に送信される情報

目的	送信される内容	送信先
ライセンス確認	テナント ID、ユーザーのオブジェクト ID、サイトのアドレス、製品の識別子、名前、バージョン	`vitextra.com`
使用状況テレメトリ	Web パーツの読み込み時のイベント (製品とバージョン、サイト ID とアドレス、ユーザーのオブジェクト ID、インターフェイス言語、Teams で実行されているかどうか) とエラーの技術的な詳細	Azure Application Insights
製品ファイル	Web パーツのスクリプトとアイコンに対する通常の要求	`static.vitextra.com`、`vitextra-storage.azureedge.net`

ボード、トピック、返信、添付ファイル、画像、サブスクリプション、メンションが Vitextra やサード パーティに送信されることはありません。許可すべきネットワーク アドレスを含む Vitextra 製品全体の概要は、KB10363. Vitextra 製品がデータを保存する場所: プライバシー、データ所在地、GDPR にあります。

データのライフサイクル

- ページから **Web パーツを削除**しても、リストとそのコンテンツはそのまま残ります。Web パーツを再度追加して既存のボードを選択すれば続行できます。

- **アプリ カタログまたはサイトからパッケージを削除**すると Web パーツは無効になりますが、リストは残り、標準のリスト　　ビューで引き続き読み取れます。KB10362. SharePoint Online と Microsoft Teams から Vitextra ソリューションを削除する方法 を参照してください。
- **リストを削除**すると、ボード、トピック、返信、サブスクリプション、ファイルが削除され、サイトのごみ箱に移動します。
- **保持、電子情報開示 (eDiscovery)、監査、秘密度ラベル**は、サイトの他のリストと同様にこれらのリストにも適用されます。
- **エクスポート**は、各リストの標準の **Excel にエクスポート** コマンドまたは Power Automate フローで行えます。本文は HTML としてエクスポートされます。

ヒント

セキュリティ　　アンケートには、この記事と、ベンダー側のデータについては KB10363、列レベルのスキーマについては KB10426 を組み合わせてください。3 つの記事はいずれも、製品に実装されているバージョン 26.10.3 を説明しています。

用語

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

Power Automate
Microsoft Power Automate は、ユーザーがアプリケーションとサービス間の自動化されたワークフローを作成できる、クラウドベースのサービスです。高度なコーディングの知識がなくても、データ収集、通知、承認などの反復的なタスクやプロセスを自動化できます。

REST API
REST API (Representational State Transfer Application Programming Interface) は、ソフトウェア アプリケーションがインターネット経由で通信するための標準化された方法です。クライアントは、GET、POST、PUT、DELETE などの標準的な HTTP メソッドを使用して、サーバー上のデータを要求したり操作したりできます。REST API は、スケーラブルで柔軟性が高く、さまざまなクライアント アプリケーションからアクセスできる Web サービスの構築に広く使用されています。

SharePoint
SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

Web パーツ

用語

Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

テナント

Microsoft 365 テナントは、Microsoft 365 サービスの専用インスタンスです。テナントには、ユーザーやドメイン (Microsoft Entra ID)、構成、サブスクリプション、サービスなど、組織の情報が保持されます。組織は、Microsoft 365 サービスにサインアップすることでテナントを受け取ります。

ドキュメント ライブラリ

ファイル、フォルダー、およびそれらに関する情報を格納する、特別な種類のリストです。リストと同様に、ドキュメント ライブラリには、個人用ビューや共有ビュー、アイテム レベルのアクセス許可などを含めることができます。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。